

## 平成25年度 専門部会 こども支援部会の活動報告

日 時	会 議 名	内 容	具 体 的 活 動
平成25年 5月24日	第1回部会	・部会長および副部会長選出 ・部会活動テーマの確認 ・今年度の活動目標・活動計画（3つ）の決定 および役割分担決定	自己紹介他 平成25年度活動 ①リーフレット②啓発 ③サポートブック作成
6月28日	第2回部会	・今年度の活動について 各担当から進捗状況報告および今後の取 り組みについて	意見交換・作業
7月19日	第3回部会	・8/1、8/2教育への研修会について ・モニター使用回収分と保護者アンケートから 読み取り	〃
8月1日	関係機関連携 強化啓発	・コーディネーター研修会（夏の第3ブロック 研修会）にて啓発	講師として1時間の講義
8月2日	関係機関連携 強化啓発	・特別支援学級担当者会議の夏の研修会にて啓発	講義と障がい者支援施設見学 等、1日の研修企画全体を部 会で実施。
8月23日	第4回部会	・今年度の活動について 各担当から進捗状況報告および今後の取 り組みについて	・教育への啓発後の報告およ び振り返り等および作業
9月 ～11月	各活動担当で 作業	9/20、11/22：リーフレット作成担当 9/20、10/31、11/22：サポートブック担当	
12月12日	第5回部会	・今年度の活動について 各担当から進捗状況報告および今後の取 り組みについて	意見交換・作業
平成26年 2月7日	第6回部会	〃	・サポートブック名称検討 ・サポートブックモニター使 用した保護者へのヒアリング についての検討等（対象者・ 時期・方法等）
2月21日	保護者ヒアリン グ	・サポートブックについて 修正を加えた現状までのサポートブック についてモニター使用した保護者（4名） からのグループヒアリング	部会長他メンバー2名 および事務局
3月7日	第7回部会	・保護者ヒアリングの報告および運用に向けて の今後の活動検討	来年度の活動スケジュール 案

## こども支援部会 活動テーマ

「切れ目のない支援を行うために」

## 平成25年度 活動目標

「関係機関とのネットワークの強化」

## 活動内容

### 1. 「障がい児・発達に心配のある子ども達のライフステージに応じた支援機関の一覧」の作成

#### <目的>

障がい児や発達に心配のある子ども達に関わる学校の先生や関係機関の支援者が、より良い支援のために連携しやすくする。

#### <内容>

平成24年度に作成した一覧に掲載の関係機関への内容変更確認

※平成26年度に市の機構改革の見込みあり、平成25年度は印刷せず。

### 2. 関係機関連携強化のための活動（啓発）

#### <目的>

平成23～24年度は、支援者間の連携強化の取り組みとして、地域の小・中学校の特別支援学級の先生方やコーディネーターの先生方に対して、学校終了後自宅に帰るまでの間や放課後に子ども達が通っている福祉サービス事業所との連携の必要性を訴え、福祉政策を理解してもらうことを目的として会議の場に出向き啓発した。

さらに今年度は、その先生方から自立支援協議会のこども支援部会へ夏季の研修会の講師依頼があり、2回ともに時間・内容を拡大し啓発実施した。1回目のコーディネーター担当の先生方へは、作成中のサポートブックを連携の手法、2回目の特別支援学級の担当の先生方へは講義から就労支援施設の見学に至るまで、子ども達の将来を見据えてのそれぞれの役割とかかわりをより具体的に理解してもらうことを目的として実施した。教え子が事業所で作業している姿をみて、将来のイメージを持つことができると共に、今必要な支援がより具体的に伝える機会になったと思われる。

これを受けて、来年度も研修をしてほしいとの声もあり、来年度は、サポートブックの使い方を中心に、情報提供を検討したい。徐々に学校の先生との連携も顔の見える関係に向かって近づきつつあることを実感している。

#### 「第3ブロック研修会（生駒市コーディネーター研修会）」

◎日時 平成25年8月1日（木） 1日の研修のうち 10：30～11：30

※第3ブロック研修会とは、生駒市コーディネーター研修会が企画する夏の研修であり、第3ブロック（生駒市・三郷町・平群町・斑鳩町・安堵町）が対象の研修。

- ◎場 所 教育支援施設（生駒市北新町12-32）
- ◎対 象 生駒市コーディネーター研修会関係者（教育指導主事・ことばの教室）  
市内各幼稚園・小学校・中学校のコーディネーター担当教諭  
奈良県立奈良西養護学校 コーディネーター担当教諭  
奈良県立奈良養護学校 コーディネーター担当教諭  
他
- ◎啓発実施メンバー 市内3支援センター職員および事務局
- ◎当日の参加状況 53名（うち、市内関係者30名）

#### 「生駒市特別支援学級担当者会議」

- ◎日 時 平成25年8月2日（金） 9:30～14:00  
生駒市特別支援学級担当者会議 夏の研修会
- ◎場 所 デイケアセンターかざぐるま 他
- ◎対 象 生駒市特別支援学級担当者会議 関係者  
会長 市内中学校校長（年度毎に担当学校あり）  
副会長 市内小学校校長（ 〃 ）  
市内8中学校 特別支援学級担任、市内12小学校 特別支援学級担任  
奈良県立奈良西養護学校 小学部 担当教諭  
奈良県立奈良養護学校 小学部 担当教諭
- ◎啓発実施メンバー  
市内3支援センター職員・奈良西養護学校教諭・奈良養護学校教諭および事務局  
※ただし、奈良西・奈良養護学校教諭は、特別支援学級担当者会議出席者
- ◎当日の参加状況 20名

## 4. サポートブックの作成

平成24年度はサポートブックの導入に向けて先進地視察をし、運用の難しさと重要性を実感したため、実際の運用に向けての基盤づくりを重要視しながらサポートブックの案を作成した。

平成25年3月～5月の間、実際にモニター使用（20名程度）してもらい、記入に関わった保護者および支援者に本格運用に向けてのアンケートを実施し内容・運用方法の評価検討を行った。子どもたちの成長のためには、支援者間の情報共有と切れ目のない支援が重要であること、その為にサポートブックを連携のツールとして運用していくことを考えている等の関係機関への啓発を行いつつ、サポートブック内容に修正を加え、平成26年2月にはモニター使用に協力してくださった保護者からグループ（4名）でヒアリングを実施し、内容・運用方法に大きなズレがないことと、平成26年度の活動の方針を確認できた。

## 来年度の活動方針

こども支援部会の活動テーマを基本とし、サポートブックの本格的な運用実施。上半期は関係機関（校長から順次現場まで）への啓発。下半期は対象者への説明会を経てサポートブックを配布する。